

# 久保田城跡

～黒門発掘調査現地説明会資料～



平成20年11月29日（土）

秋田市教育委員会

# 久保田城跡黒門発掘調査

## 1 調査の概要

- (1) 所在地 秋田市千秋公園地内
- (2) 調査期間 平成20年10月14日～12月上旬
- (3) 調査面積 約160m<sup>2</sup>
- (4) 調査原因 千秋公園再整備計画黒門再建に伴う発掘調査
- (5) 事業主体者 秋田市都市整備部公園課
- (6) 調査担当者 秋田市教育委員会文化振興室
- (7) 業務受託者 株式会社 本郷建設工務所

## 2 調査経過と概要

秋田市都市整備部公園課は、久保田城跡黒門の再建を計画しておりますが、絵図等に複数描かれている門の所在や構造を確認する必要があることから、教育委員会文化振興室に発掘調査を依頼し、平成19年11月2日から12月10日まで調査を実施しました。その結果、当初から地表面に露出していた礎石2基と平成4年度の調査で礎石抜き取り跡と考えられた掘り方2基、さらに溝5条等が検出されました。門の位置や構造を確認するには至りませんでした。そこで今年度は園路北側および黒門に関連すると考えられる掘り方周辺、北側に延びる土壘上の遺構の有無を調査することを目的に、2年次目の発掘調査を実施しました。

## 3 黒門について

久保田城二の丸には、黒門・松下門・北御門・不淨門の4つの門がありました。黒門は久保田城の南東、三の丸から二の丸に至る途中の門で、三の丸と二の丸を隔てる内堀にかかる唐金橋からかねばしを渡った場所に位置し、大手門から本丸に至る正式な登城ルート上に位置する主要な門です。絵図等によると黒門は1つの門ではなく、2つの門が描かれているものもあります。

## 4 発見遺構について

平成4年度および平成19年度に発見されている園路北側の礎石および据え方(掘り方)1基、この礎石の東西に掘り方2基、さらに石垣直下に柱掘り方と考えられる掘り込み5基が発見されました。一方、北側に延びる土壘上の調査では黒門に関連する遺構は発見されませんでした。

調査地東端側の唐金橋付近では橋脚と考えられる掘り方1基を発見し、底部から柱を安定させるための礎板、また、掘り方の中程で東西方向に横木材が腐食した痕跡と考えられる空洞が発見され、

橋脚に関連する基礎構造の一部か、または橋桁構造の一部となる可能性が考えられます。

調査地の基本層序は、下記のとおりです。

第Ⅰ層 アスファルト

第Ⅱ層 碎石

第Ⅲ層 暗褐色土（旧表土）

第Ⅳ層 黄褐色粘土層（整地層）

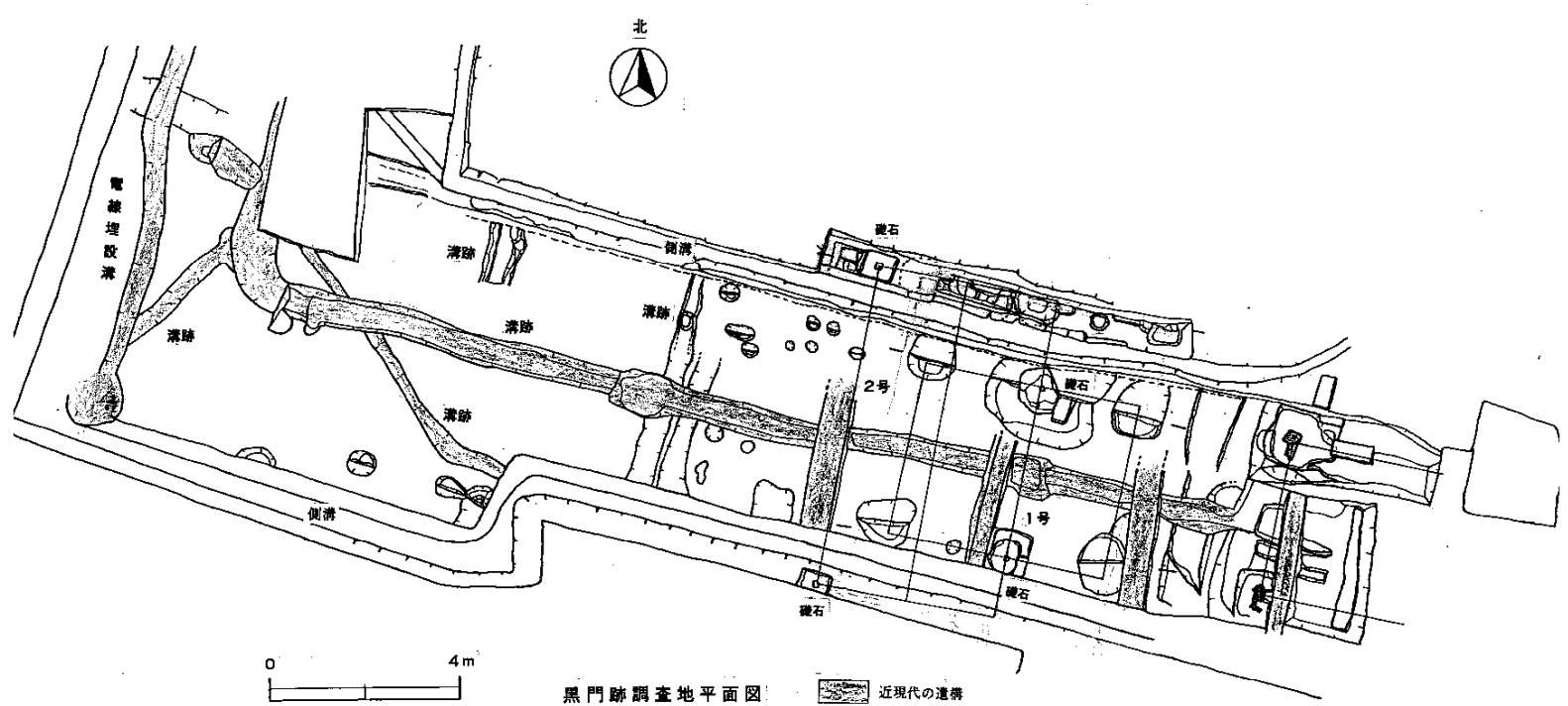
第Ⅴ層 明黄褐色粘土層

## 5 出土遺物

通路内の整地層から少量ですが、陶器・瓦等が出土しています。

## 6 まとめ

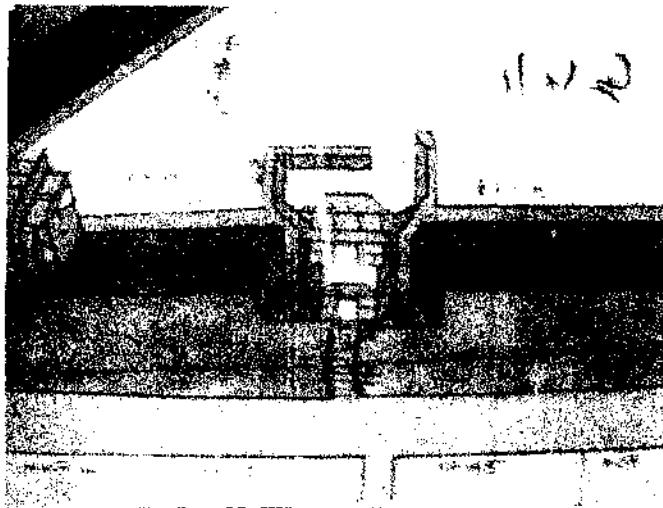
平成4年度および19年度に調査を実施した部分では、黒門跡の遺構として礎石・礎石抜き取り跡などが発見され、その規模等がある程度分かってきました。しかし、園路北側部分が未発掘であることから門跡と断定するには至りませんでした。今回の発掘調査ではその北側部分を調査し、礎石や掘り方等を発見しました。これらの掘り方は、黒門跡の礎石および掘立柱の掘り方と考えられ、礎石を使用した門、掘立柱の門が考えられますが、文献資料および他の例をもとに精査し、検討したいと考えております。



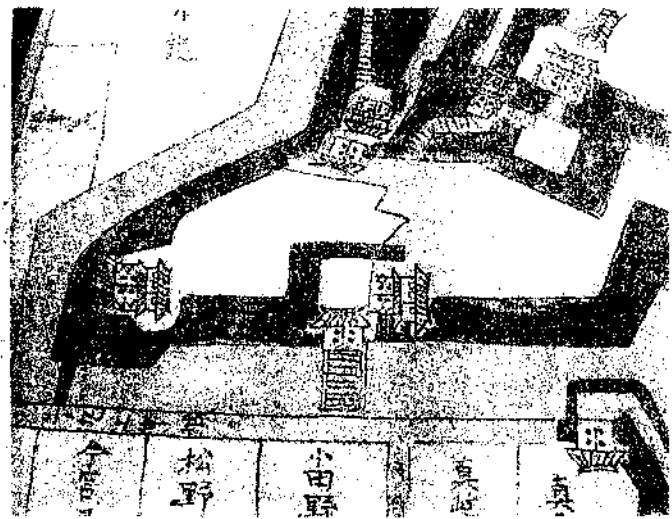


秋田久保田城絵図 文政4年（秋田県立公文書館蔵）

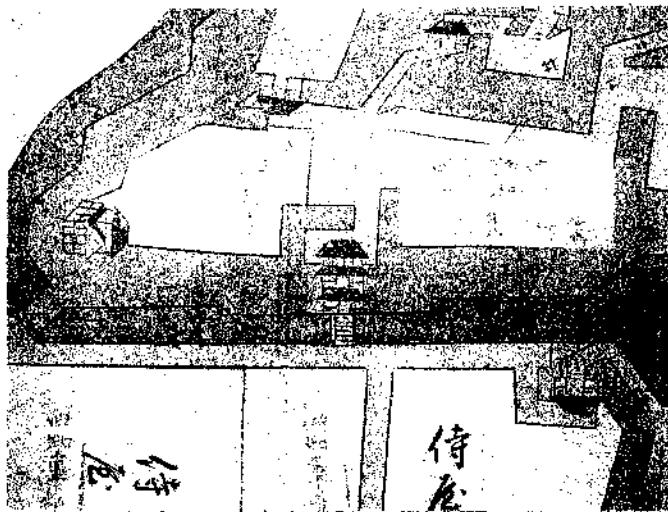
## 絵図に描かれた門の位置



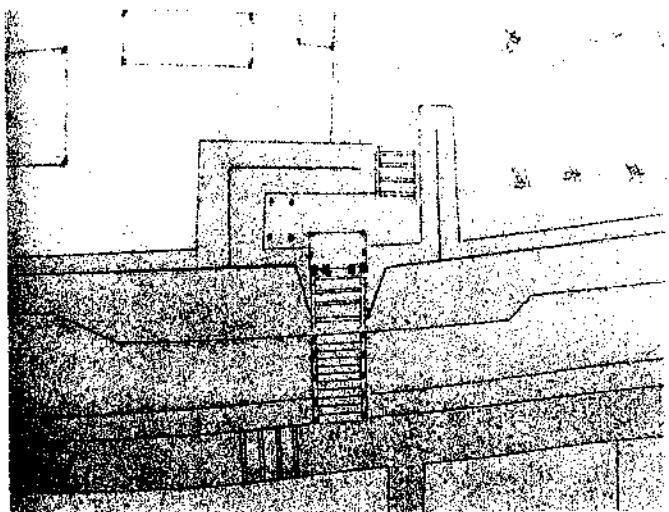
御城下絵図  
寛保2年(1742)



羽州久保田城大絵図  
文政末期(1830年頃)



秋田御城絵図  
嘉永2年(1849)



旧秋田城郭絵図  
明治以降